



Sponsor a Child

クリスチャンパートナーズ

通信第 103 号

-
- | | |
|---|-----------------------------------|
| ・発行日／2019年04月30日 | ・発行所／クリスチャンパートナーズ |
| ・事務局／〒422-8053 静岡市駿河区西中原
2-7-63-111 竹澤三佳子方 | ・Tel／Fax 054-283-1721 |
| ・郵便振替口座／00150-0-134994 | ・e-mail／sunflower818@hw.tnc.ne.jp |
| | ・http://www2.wbs.ne.jp/~c-p/ |
-

主イエスの宣教

理事長 木ノ内一雄

イエス様がこの世に遣わされて来た使命は二つありました。それは「神の国」を宣べ伝えることと「病気の人を癒す」ことでした。当時の社会は、病気は悪霊によるものと考えられていました。特に生まれつき目や足などの不自由な人たちは、本人、あるいは両親が罪を犯したため、悪霊によると思われていました。日本に住む現在のわたしたちには考えられないことですが、アフリカやアジアの途上国では未だにそのように考えている人が多くいます。以前、ガーナやガンビアを訪ねて奥地に入った時、村には診療所も薬もなく、祈祷師がいるだけでした。そのような社会で、イエス様はさまざまな病気を癒されましたが、それは、その人の内に住む悪霊を追い出したということでした。

イエス様は「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」と言われました（ルカによる福音書9：23）。イエス様に従う道こそ永遠の命に至る唯一の道だからです。イエス様に従おうとするとき、一番の妨げになるのは自分自身です。今はだめ、後になったら、したいことがあるなどと様々な理由を付けて従おうとはしません。イエス様のために自分の人生を犠牲にしたくないのです。そのようなわたしたちが従うことができるのは、イエス様の方からの「わたしについて来なさい」という抗しがたい力に押されたからです。イエス様に従う時、わたしたちの心に神の霊が宿り、「神の国」の民の一人とされます。この霊はわたし自身の霊と心の中で同居し、教会の礼拝と日々の生活を通して、すべてにわたる神の支配を教えます。そして聖書が理解できるようになります。「神の国」とはイエス様が支配する国なのです。今日、イエス様を信じても肉体の病や障害が癒されることはないかもしれません。しかし、心の目が開かれ、耳が聞こえ、足は癒され、どこから来てどこに行くのか、何をしなければならないのかを知るようになります。

わたしたちは皆さまのご協力を得て、途上国の子どもたちのために学費援助をし、現地の宣教プログラムを助けています。それはイエス様が弟子たちを遣わすとき求められた「神の国」を宣べ伝え「病人を癒しなさい」というみ言葉を、わたしたちもまた継承したいという思いからに他なりません。

ガーナ緊急支援報告

木ノ内和美

昨年9月18日、ガーナのエイモス・バンマリグ氏より次のような写真付の緊急支援要請のメールを受け取りました。

《ヤマ地方を添った深刻な水害で、被害が出たことをご報告します。ヤマの道路は洪水によって封鎖され、オートバイや自転車は通れなくなりました。この写真のように、道路にあふれた水で非常に危険な状態になっていることがお分かりいただけると思います。今や、穀物や農作物は全て流され、家屋は倒壊、人々は住居も食物もない状態です。このような差し迫った事態をお察しくださり、ご支援をお願いします。》、

このメールを受けて、理事の間で何度か連絡しあった結果、緊急支援として10万円を送金する決定をしました(9月25日)。



エイモス師から支援金を受け取ったとの感謝のメールが10月7日付けで届きました。

《イエス・キリストのみ名を崇めます。神様が、予期せぬ災害に見舞われた私たちの嘆きを聞いてくださり、皆様の心を動かしてくださったことに心より感謝いたします。全能の神様が、より一層皆様を祝福してくださいませように。》

いただいた支援金は下記のように用いさせていただきました。

ガーナ貨幣で4,131.45セディを受け取り、緊急会議を開いて食料と、倒壊家屋修復のためのセメント購入を決議しました。

1. メイズ(穀物)購入 17袋(2,040セディ)
2. 米 5袋(850セディ)
3. セメント20袋(660セディ)

これらを21家族にメイズ15袋と米4袋、孤児たちにはメイズ2袋と米1袋
セメントは10家族に2袋ずつ

市場までの交通費581セディで合計4,132セディ。

皆様の迅速なご支援に、村人はじめ私たちは、皆心より感謝しております。引き続き、皆様の温かいご支援とお祈りをよろしく願いいたします。私共も日本のパートナーズのお働きのため祈らせていただきます。》

3月3日に支援物資を受け取った村人たちの喜ぶ様子の写真が送られてきました。



メイズ（穀物）やセメント袋の到着



飲料水、小麦粉などを歓迎する村民たち



←エイモス師と喜びの握手をする村民代表

今後とも、ガーナの厳しい環境の中で農業支援・養護施設運営、また教会の伝道活動をなさっているエイモス師のプロジェクトのために、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



ドノの近況

「通信」第101・102号でご紹介したドノは、希望がなくなって現在、看護学校で学んでいますが、パソコンを持っていないので、同級生の機器を借りて夜中に勉強していると聞いて、彼の健康を案じたクリスチャンパートナーズの理事たちが、高橋宣教師を通してスマホを贈りました。彼の後見をしているグローリア寮の寮長が届けてくれたとのことで、喜ぶ彼の写真が到着しました。

ドノは早くに祖父、父を相次いでなくし、家族の中の男子一人で、姉たちに支えられて、極貧の中で育ちました。家族はカトリックの信者だったようですが、神父は年2回ぐらい訪問する状態だったそうです。中学生になってグローリア寮に入り、プロテスタントの信仰に接するようになりました。高校進学は、高橋先生のおられる神学校での賄の働きを通して住居と生活費を得て、高校を卒業しました。

医療とは縁のなかった自分の村のために、なんとか奉仕できないかとの彼の希望が、高橋先生を通してクリスチャンパートナーズの支援となりました。近い将来、無医村バダットラマ村に、専門教育を受けた看護師が着任することになるでしょう。その時が実現するまでドノの心と体の健康が支えられますように、私たちも祈り続けましょう。

2018年 西カリマンタンSAC 宣教活動報告

サロミ 牧師

神様の愛とお導きにより、2018年も平穩に過ごせたことを感謝しております。同時に、ご支援くださる皆様からの奨学金と、クリスマスや誕生日の贈り物に、いつも感謝しております。里子たちは、クリスマス休暇の前にカードと手紙で自分たちの出席する教会について、里親さんにお知らせし、里親さん方からもカードをいただきました。今、クリスマスの休みを終わって学校に戻ったところです。

SACを通して初等教育を受けた子どもたちの中には、上級学校に進学して町を離れる者もいますが、教会での様々な奉仕活動を通して、信仰を深めています。また、彼らの働きかけで家族にも教会への関心が芽生えてきています。

誕生日やクリスマスを祝い、贈り物を交換する習慣のなかったこの地域で、支援者の方々の心遣いは、子どもたちばかりでなく家族にも非常に感謝されています。

フィリピ センター（養護施設）には現在 20 名の子どもがいます。男子 12 名、女子 8 名です。8 月に麻疹にかかった子どもがいましたが、職員の看護で回復し、咳や風邪もおさまりました。6 人は高校に、10 人が中学に、2 人が小学校にかよっています。学費がだんだん高くなって困っていますが、皆様の愛情ある支援で、何とか満たされており、感謝です。

支援者の皆様のご協力を感謝し、主のお守りが常にありますようにお祈りしております。



クリスマスの祝会

~~~~~

【理事会報告】第 204 回理事会は 2018 年 11 月 05 日(月)一ツ橋学士会館で開催。2018 年 07, 08, 09 月度会計報告承認。SAC 里子は 14 名、里親も 14 名。里子の所属を西カリマンタンに限定すると、人数は減ることになる。ホームページの修正・改善について高須氏の改善案に基づいて協議。「通信」103 号はガーナの洪水救援などを木ノ内和美理事が報告予定。高橋宣教師からの奨学生の近況など。

第 205 回理事会は 2019 年 01 月 21 日(月)一ツ橋学士会館で開催。2018 年 10, 11, 12 月度会計報告承認。SAC からカードと手紙到着、里親に転送。「通信」第 103 号はガーナ洪水救済写真と高橋先生関係の奨学生近況の予定。高須氏を交えてホームページ改善について協議。理事長と高須氏の間で新案を協議する。

第 206 回理事会は 2019 年 05 月 13 日(月)一ツ橋学士会館で開催予定。

\*\*\*\*\*

(編集後記) 「通信」第 102 号をお送りしてから、長い間ご無沙汰いたしました。新しい年が始まり、花の季節に復活節を迎えました。皆様にはお障りなくお過ごしでしょうか。西カリマンタンの里子たちは日々成長している様子です。ガーナの洪水については、希望に応じて支援金を急遽送りました。感謝の報告が到着し、お知らせできることをうれしく存じます。2019 年度もご支援の継続をよろしく願いいたします。鳥海百合子